

～ 釧路桜ヶ岡商店街賑わい再生事業 ～

かつて炭鉱会社が主催していた地域の伝統的な祭りの「山神祭(さんじんさい)」を商店街が主体となって復活させ、賑わいの復活に努めたことで地域との連帯感が深まり、幅広い年代層を商店街への来街促進につなげる等顕著な成果を上げている。

所在地：北海道釧路市桜ヶ岡1-11-22
TEL・FAX：0154-91-5656
URL：<http://www.kuleba.jp/>
組合員数：38名
商店街の類型：近隣型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

釧路桜ヶ岡商店街振興組合は釧路市の東南部に位置し、地域住民の日常の買い物ニーズに対応した最寄り品の物販を主体とした近隣型商店街。地域の基幹産業であった太平洋炭鉱とともに発展してきたが、平成14年同炭鉱の閉山に伴い1,500名以上の離職者が出た結果、組合員数の減少や売上減少等の影響を受けた。

このような状況から、同炭鉱が実施していた地域最大のお祭りであった「山神祭」が平成10年で廃止となり、また、日常の買い物ニーズに対応していた地元食品スーパーの倒産等により高齢者を中心として買い物の利便性が低下したことから、商店街としても対応策を迫られていた。



実施した事業の概要

山神篝火三五四まつりの実施

商店街が主体となり、平成10年に廃止となった地域の伝統的な祭りの「山神祭」を再構築し、来街促進に取り組むとともに、組合員店舗の積極的PRを通じて賑わい再生に努めるため、以下の内容を実施した。

①告知用チラシの新聞折込み、ポスターに加え、イベントの事前PRのため地元ラジオ局によるPR広告を実施。また、イベント会場にPR用のぼりを設置し、商店街街路灯52本への提灯・吹き流しの装飾を行った。さらに、会場には、子供を連れた家族のためにふわふわ遊具を設置した。

②来街者の促進、及び高齢者を中心とした買い物弱者対策として、イベント実施日の2日間に商店街来街用の循環バスの運行を行った。結果として、多くの利用者があり、郊外に住む高齢者の来街促進につなげることができた。

③商店街マップを作成するとともに、スタンプラリーを実施したことで、商店街での回遊性の向上を図り、会員店舗の売上向上につなげた。

スタンプラリーはイベントまでの1ヶ月間実施し、イベント当日に抽選会を行った。当選者には、景品として地元特産品等を提供し大いに喜ばれた。

④国際交流イベントとして、地元企業で受け入れ中のベトナム人研修生を招請し、玉入れ競技を行うことで地域住民と交流した。



成果と成功の要因

事業実施前の商店街の歩行者通行量は1日で1,600名であったが、事業実施後では1,720名と7.5%の大幅な増加となった。歩行者通行量の増加は、今回のイベントで行った商店街並びに個店のPRがその効果を上げたものと思われる。

地域最大であった祭りを商店街が主体となったイベントとして本格的に復活させたことは、地域住民に大変好評で「来年もまたやってほしい」等の声が寄せられる等好評であった。また、本事業を通じて、商店街と地域諸団体が連携したことにより、地域コミュニティとの連帯感が深まる等の効果があった。事業終了後も歩行者通行量が増加したことから、今後の商店街の活性化につながっていくものと期待できる。

今後の取り組み

商店街が主体となって地域最大の祭りを本格的に復活させたことは地域住民に大変好評であったことから、今後とも継続していく予定である。また、今後は、商店街の核店舗であるスーパーにて地元漁業者による海産物の「朝市」を予定する等、商店街・個店情報を積極的に発信し、安全・安心で利便性の高い商店街づくりに努力していく予定である。